

## 2 研究の実際 > (2) 授業の実際

### Ⅰ 授業実践 (中学校B 第1学年 1時目)

- ◆本時のねらい：グループでの交流活動を通して、自分や友達の「強み」を知ることができるようにする。
- ◆本時のめあて：自分や友達の「強み」を知ろう。
- ◆授業前の取り扱い
  - ・グループを意図的に構成し、生徒の心理的な負担を減らすように配慮する。
- ◆指導形態
  - ・「自分Webbing」の活動において、生徒の理解を深めてスムーズな活動を促すために、「強み」の考え方の具体的な例示などを、センター所員（T1）と学級担任（T2）のティームティーチングで行った。
- ◆本時の展開

学習活動と授業スライド	・生徒の様子と教師の気付き	○教師の働き掛け
<p>1 3時間の学習活動の目標を知る。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい学習内容に興味・関心を持って聴く姿勢が見られた。</li> <li>・授業者の自己紹介に興味深く聴きながら、質問する生徒もいた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3回の授業で、自分や友達の「強み」を見つけ、伝え合う活動を通して、自分や友達の「強み」を知る学習をしていくことを伝えた。</li> <li>○T1が自己開示し、話しやすい環境づくりをした。</li> </ul>
<p>2 グループを作り、グループ名を考える。</p> <p>交流活動(4人)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活班でグループを編成し、グループ名を考える話し合い活動を通して和やかな雰囲気になった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○互いに意見を出し合ったり話し合ったりすることにより、親和的な雰囲気づくりを行った。</li> </ul>
<p>3 本時のめあてを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃からグループ活動に慣れている様子でスムーズに活動に取り組むことができた。</li> </ul>  <p>【話し合い活動の様子】</p>	

4 「強み」(ストレングス)について知る。

2. 強み(ストレングス)について知る

**強み(ストレングス)**

人が持っている  
考え方、行動、からだ

3. 強み(ストレングス)を理解するポイント

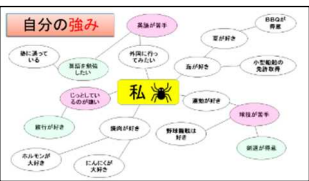
人が持っている  
考え方、行動、からだ

ポジティブ(プラス)なこと  
+  
ネガティブ(マイナス)に見えるもの

5 「自分Webbing」の活動を行う。

交流活動(4人)

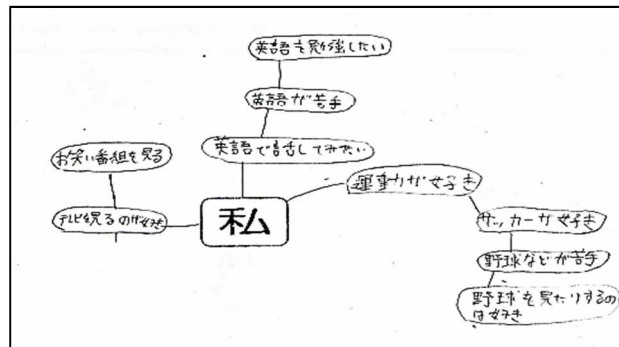
(1) 自分に関すること(好きなものや苦手なことなど)を書く。



・『強み』(ストレングス)とはポジティブなことだけではなくネガティブなことも含む」という説明に対して困惑する様子が見られ、「小さいとか遅いとかも『強み』ですか」等の質問をする生徒がいた。

・教師自身が実際にウェビングを行いながら自己開示をすることで、学級の雰囲気緩和が和らいだ。

・「〇〇が好き」「〇〇が得意」については書くことができた。「〇〇が嫌い」「〇〇が苦手」というネガティブなことについては書くことが難しい様子だった。  
・T1の声掛けやヒントでスムーズに活動することができた。




【Aさんが書いた「自分Webbing」】

○スライドを提示し、「強み」の定義と「強み」を理解するポイントについて説明した。  
○T1が自己開示したことを改めて確認することにより、その人が持つ「強み」に気付くことができるようにした。  
○T1の「自分Webbing」を例示し、ネガティブに思えることも「強み」として捉えることができることを視覚的に理解できるようにした。

○ワークシートを配付した。  
○スライドを提示し、活動内容と方法を説明した。

○T1の「自分Webbing」を例示し、ウェビングの書き方を説明した。

<p>(2) グループの友達のワークシートに、友達の「強み」を考えて書く。</p> <p>(3) 友達を書いてくれた「強み」と「自分Webbing」を参考に、自分の「強み」を考えて書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ T 2がT 1の行ったウェビングを参考にして「強み」を例示することで、生徒は「自分Webbing」の方法を理解した。</li> <li>・ 友達の「自分Webbing」を見て、一生懸命「強み」について考えている様子が見られた。</li> </ul>  <p>【自分や友達の「強み」を書く様子】</p> <div data-bbox="496 1249 1121 1417" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>2 「自分Webbing」をやってみて、自分の「強み」だと取うことを書いてください。</p> <p>私の「強み」は・・・          苦手なことがたくさんあったが、苦手なことを乗り越えてきた</p> </div> <p>【Aさんが記述した自分の「強み】】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友達の記述を参考にしながら、自分の「強み」を書く姿が見られた。</li> </ul> <div data-bbox="496 1603 1121 1794" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1 友達の「自分Webbing」を見て、友達の「強み」だと取うことを書いてください。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; padding: 5px;">                 あなたの「強み」は・・・                  やりたくないことがたくさんある                  ことだ                  と思います。                  より             </td> <td style="width: 33%; padding: 5px;">                 あなたの「強み」は・・・                  苦手なことを乗り越えたり、                  自分の苦手なことをよく分けている                  こと                  と思います。                  より             </td> <td style="width: 33%; padding: 5px;">                 あなたの「強み」は・・・                  大人が                  認めている人です                  と思います。                  より             </td> </tr> </table> </div> <p>【グループの友達が記述したAさんの「強み】】</p>	あなたの「強み」は・・・ やりたくないことがたくさんある ことだ と思います。 より	あなたの「強み」は・・・ 苦手なことを乗り越えたり、 自分の苦手なことをよく分けている こと と思います。 より	あなたの「強み」は・・・ 大人が 認めている人です と思います。 より	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ T 2がT 1の「自分Webbing」を参考にし「強み」を考えたものを例示し、友達の「強み」の考え方を説明した。</li> <li>○ 友達に「強み」を書いてもらったワークシートに目を通す時間を設けた。</li> <li>○ T 2が書いた「強み」と「自分Webbing」を参考にし「強み」を例示し、自分の「強み」の考え方を説明した。</li> </ul>
あなたの「強み」は・・・ やりたくないことがたくさんある ことだ と思います。 より	あなたの「強み」は・・・ 苦手なことを乗り越えたり、 自分の苦手なことをよく分けている こと と思います。 より	あなたの「強み」は・・・ 大人が 認めている人です と思います。 より			

(4) 「聴き方のポイント」を知る。

7. 自分の強み(ストレンクス)をグループで伝え合おう

【聴き方のポイント】

- ① 相手を見る
- ② うなずきながら聴く
- ③ 最後まで聴く



(5) 自分と友達の「強み」を伝え合う。

- ・自分の「強み」を友達に伝えるのは照れくさそうだったが、互いに笑顔で伝え合う様子が見られた。
- ・友達の発表に関心を持ち、真剣に聴くことができていた。



【自分や友達の「強み」を伝え合う様子】

6 本時の活動を振り返る。


交流活動 (4人)

(1) 振り返りシートに記述する。

- ・「自分Webbing」をしたときや、友達から「強み」を教えてもらったときの気持ちを、素直に書く様子が見られた。

(5) 今日の学習の気付きや感想を書きましょう。

今日は、自分の強みを考えて、友達と話しして、自分の強みを知ることができました。クラスの人の強みも知ることができたので良かったです。これからは、自分の強みを理解して、もっと強みを増やしていきたいと思います。自分のことが知れたので良かったと思います。



【生徒が記述した感想や気付き】

(2) グループで気付きを伝え合う。

- ・友達の発表を聴いて、自分と同じ考え方や、違う感じ方を知って、喜んだり驚いたりする様子が見られた。

○「聴き方のポイント」を知らせ、安心できる雰囲気の中で「強み」を伝え合うことができるようにした。

○「強み」を伝え合うことにより、互いに自他のよさに気付くことができるようにした。

○振り返りシートを配付した。

○気付いたことや感じたことを記述してグループで伝え合うことにより、自己理解や他者理解を深めることができるようにした。

7 次時の活動を知る。		○次の時間も「強み」について学習することを伝え、興味や関心を継続できるようにした。
-------------	--	-------------------------------------------

## ◆授業後の取り扱い

- ・学級通信等で学習活動や生徒の感想を紹介しました。
- ・ワークシートや振り返りシートに、教師が気付いたことや感じたことを書きました。
- ・ワークシートと振り返りシートをファイルにとじて、生徒が学習を振り返ることができるようにしました。

## ◆本時の考察の視点

・本時のねらい「グループ活動を通して、自分や友達の『強み』を知ることができるようにする」を達成することができたかを、振り返りシートの結果と記述から考察します。考察の視点は、以下のとおりです。

## 【① 学習に進んで参加することができたか】

振り返りシートの「学習に進んで参加することができましたか」の質問で、意欲的に自分や友達の「強み」を知ろうとしたかを考察します。

## 【② 自分や友達の「強み」を伝え合うことができたか】

振り返りシートの「自分や友達の『強み』を伝え合うことができましたか」の質問で、自分や友達の「強み」を知るために自他の「強み」を伝え合うことができたかを考察します。

## 【③ 自分の「強み」を知ることができたか】

振り返りシートの「自分の『強み』を知ることができましたか」の質問で、自分の「強み」を知ることができたかを考察します。

## 【④ 友達の「強み」を知ることができたか】

振り返りシートの「友達の『強み』を知ることができましたか」の質問で、友達の「強み」を知ることができたかを考察します。

## ◆本時の考察（「振り返りシート」の結果と記述から）

## 【① 学習に進んで参加することができたか】

○振り返りシートの「学習に進んで参加することができましたか」の質問に対して、「できた」と回答した生徒の割合は96.0%、「だいたいできた」と回答した生徒の割合は4.0%でした（図1）。また、生徒の振り返りシートには、「これからは自分の『強み』を理解して、もっと増やしていきたい」「これからは『強み』を生かして頑張りたい」という記述が多く見られました。これらのことから、生徒は「自分Webbing」の学習活動やグループでの交流活動に進んで参加し、意欲的に自分や友達の「強み」を知ろうとしたと考えます。

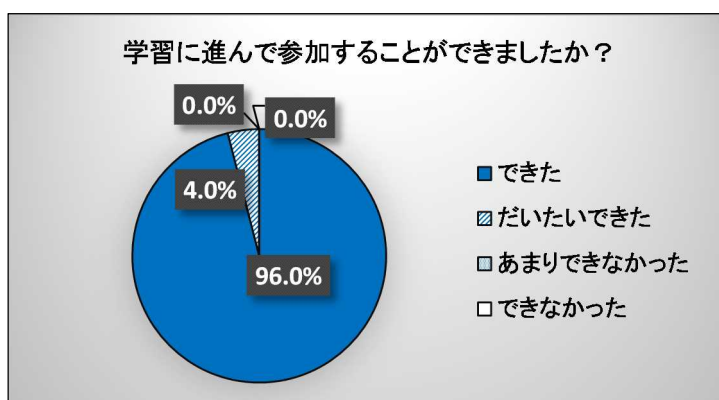


図1 学習に進んで参加することができたかについてのアンケート結果（振り返りシートより）

## 【② 自分や友達の「強み」を伝え合うことができたか】

○振り返りシートの「自分や友達の『強み』を伝え合うことができたか」の質問に対して「できた」と回答した生徒の割合は100%でした（図2）。その理由として、生徒は日頃から班活動をしているため、互いに意見を交流するという習慣が確立していたと考えます。また、生徒の振り返りシートには、「自分の『強み』を知ってもらうだけでなく、友達の『強み』も知ることができて嬉しかった」という記述が多く見られました。これらのことから、生徒は「自分Webbing」の学習活動やグループでの交流活動を通して、自分や友達の「強み」を知るために自他の「強み」を伝え合うことができたと考えます。

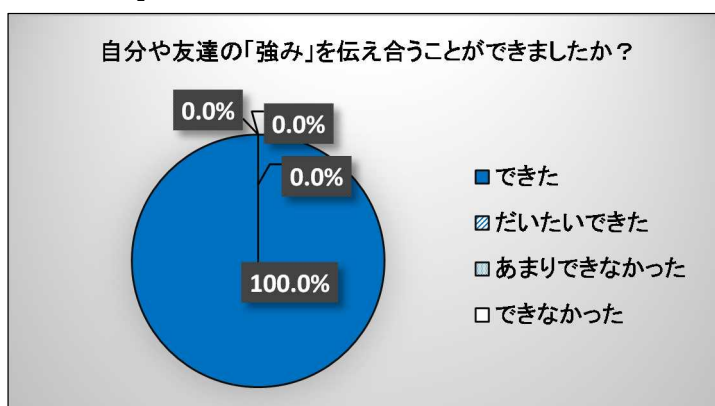


図2 自分や友達の「強み」を伝え合うことができたかについてのアンケート結果（振り返りシートより）

## 【③ 自分の「強み」を知ることができたか】

○振り返りシートの「自分の『強み』を知ることができましたか」の質問に対して「できた」と回答した生徒の割合は84.0%、「だいたいできた」と回答した生徒の割合は16.0%でした（図3）。また、生徒の振り返りシートには、「自分の『強み』を知ることができた」「苦手だと思っていたことが『強み』だと知ることができた」という記述が多く見られました。これらのことから、生徒は「自分Webbing」の学習活動やグループでの交流活動を通して、自分の「強み」を知ることができたと考えます。

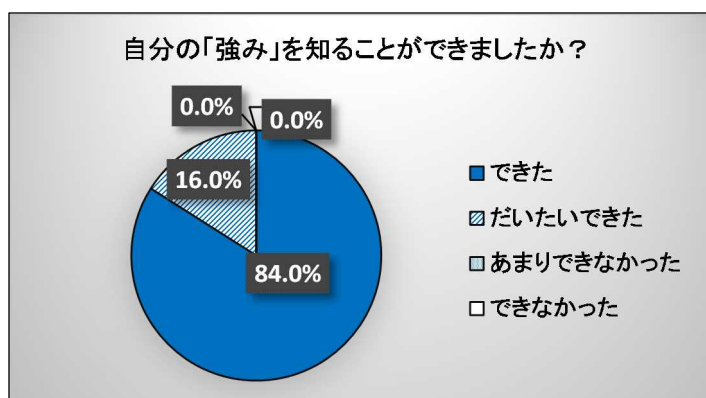


図3 自分の「強み」を知ることができたかについてのアンケート結果（振り返りシートより）

## 【④ 友達の「強み」を知ることができたか】

○振り返りシートの「友達の『強み』を知ることができましたか」の質問に対して「できた」と回答した生徒の割合は96.0%、「だいたいできた」と回答した生徒の割合は4.0%でした（図4）。また、生徒の振り返りシートには、「今まで気付かなかった友達の『強み』に気付くことができた」「友達の『強み』を探すことは楽しい」という記述が多く見られました。これらのことから、生徒は「自分Webbing」の学習活動やグループでの交流活動を通して、友達の「強み」を知ることができたと考えます。

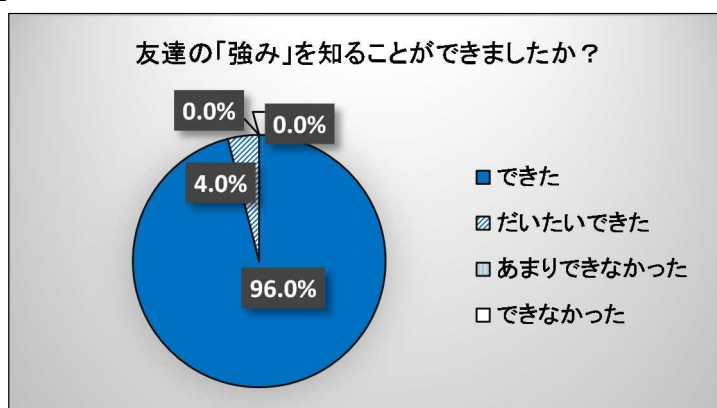


図4 友達の「強み」を知ることができたかについてのアンケート結果（振り返りシートより）

以上の結果より、1時目の授業において、生徒は意欲的に授業に参加し、自分や友達の「強み」を知り、それを伝え合うことができたことが分かりました。一方、「自分の『強み』を知ることができたか」という質問に対して、「できた」と回答した生徒の割合は84.0%、「友達の『強み』を知ることができたか」という質問に対して「できた」と回答した生徒の割合は96.0%でした。二つの項目から、生徒は自分の「強み」よりも友達の「強み」を見付けることが容易であったことが分かりました。その理由として、中学生の発達の段階における自己肯定感の低さが影響していると思われます。しかし、「自分や友達の『強み』を伝え合うことができたか」という質問に対して、「できた」と回答した生徒の割合は100%でした。これは、自分や友達の「強み」をワークシートに記入した後、それを基に交流活動を行ったことにより、生徒は互いに交流がしやすくなったからだと考えます。以上のことから、2時目の授業では、まず友達から自分を評価してもらう活動を取り入れることで、自己肯定感の低い生徒も、安心して学習活動に取り組むことができると考えます。